

GLOBAL MX-5 CUP JAPAN(GMCJ)の第3戦が三重県の鈴鹿サーキットで開催されました。

F1も走る鈴鹿は国内で一番の高速サーキットでドライバーの力量が試されるドライバースサーキットです。



## 6月30日土曜日 公式戦占有枠

土曜日の占有枠は一本目は2分32秒054で1位。2本目も僅差の3位とセットは完璧。あとはドライバーが微調整すればいけるんじゃないかという感じでした。

## 7月1日日曜日 公式予選

日曜日の8時半から予選開始。グリーンランプでコースインOKですがトップ4台は誰も動かない。鈴鹿はスリップストリームが良く効き、タイムに大きく影響しますので占有枠で好調だった吉田選手の後ろをみんなが狙います。そして15分過ぎても誰も動かずピット入り口でじっと待ち構えてる。そこで梶谷選手がピットに戻って来たのでこのタイミングでコースイン。焦ってしまい、タイヤをまともに暖めることが出来ず単独になりアタックしますがアンダーが強い。時間切れで昨日の占有枠から1秒以上遅れてしまい4位。

## 予選 > 4位

## 7月1日日曜日 決勝

これはいかん、なに？なに？と悩んでたらタイヤ屋さんが昨日からセット変えたの？昨日が一番バランスよかったのと言われて、決勝に向けて修正点が見つかりとりあえず決勝前半は前の3台に食らいつく、そうならば終盤にはチャンスはあると信じて45分の暑いレースがスタート。序盤はクルマが曲がらないなあと思いながら3台に着いてくのがやっと。5周を我慢した辺りからクルマがすごく良くなり攻めます。シケインから1コーナーで梅田選手をパスして3位に、これは行けるぞと思ったところでクラッシュした車両がありセーフティカーが入ります。正直、この間はタイヤが回復するし嫌だなあと思いながら周回します。そして、セーフティカー解除の周で少し遅れてしまい、梅田選手にシケインで刺される。そこからまた、粘りながら走っているとバトルしてる3台がタイヤが辛そう。これば行けるぞと一気にペースを上げます。ラスト7分で吉田選手が3位でシケイン立ち上がりで遅れた。抜いたら吉田選手の優勝は難しい、一緒に上がることを選択して後ろから押して加速させて梅田選手を抜いて2位に上げます。そしてラスト2周はスプーン、130Rを3ワイドとか危ない、危ない、と思いながらもみんなの技量を信じて4台がクリーンな戦いです。そしてファイナルラップまで誰が勝つか解らないままシケインに団子状で進入して、少し接触が

ありながら失速したところに村上が綺麗に立ち上がり1000分の1秒差で逆転し2位になりました。 **決勝 > 2位**

## 総括 チームオーナー兼ドライバー 村上

ホントに運も味方してくれましたがいいクルマをセットアップしてくれたスタッフのお陰です、本当にありがとうございました。そして、これだけ接戦で戦いながらも大きな接触もなくクリーンなバトルをしてくれたドライバーに感謝です。観てた観客も楽しめてレベルの高いレースが魅せられてよかったです。梶谷選手も慣れて来てクラス6位入賞。

次戦はホームコースの岡山国際サーキットですので優勝出来る様に頑張りますので応援よろしくお願いします。

